



福山赤坂ロータリークラブ週報

第449回例会
2006年5月09日(火)

超我の奉仕

2005~2006年度 国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

- 会長 菅 雪雄 ●副会長 門田一治
- 幹事 前田真治 ●会計 藤原美則
- SAA 今井尚正 ●副幹事 佐藤俊之

創立 1996.10.8 承認 1996.10.23

例会場 福山市赤坂町赤坂 1276
 事務所 福山市赤坂町赤坂 1276
 TEL (084)920-4141
 FAX (084)920-4140
 ホームページ <http://www.fa-rc.jp>
 E-mail fa-rc@aurora.ocn.ne.jp
 例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

◆ポールハリスフェロー授賞式 佐藤俊之さん



◆会長報告

5月6日が暦の上では立夏で、夏が始まるとされています。大型連休も終わりましたが、天候にも恵まれ楽しいお休みをされたことと思います。

今日は今年度R I 会長ステンハマー氏のテーマでもあります、「超我の奉仕」がロータリーの公式標語になった由来について少し話してみたいと思います。シカゴでポールハリスと言う若い弁護士が1905年にロータリークラブをつくったのは皆様とご存知だと思います。しかし大きな一つの転機になったのはアーサー・シェルドンの入会でした。この人は経営学者で「こんな仲間の利益ばかり考えている会は持続しない、広く社会的に有用な団体となり立派な旗印が必要である」と考えました。そこで当時のシカゴを見渡したところ金の亡者の集まりで商業道徳は退廃し、被害は消費側で防衛せよと公言している状態の修羅場となっていました。しかしこうして破産倒産が相次ぐ中にもなお商売繁盛を続ける商家のあることに気づき、その秘密は相手の身になって励むことを見つけて「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の標語を掲げました。また時を同じくしてフランクコリンズが「超我の奉仕」を唱えこの二つが公式標語となってロータリーは奉仕団体としての性格を明らかにしました。今年度のR I 会長ステンハマー氏も同じテーマを掲げています。この結果ロータリアンの職場はいずれも活気を取り戻し着々と成功者も出てきました。この職業奉仕の成果によってロータリアンは大きな信念を持つことができる様になりました。このときに車輪のマークから相互扶助のギアマークに変わったそうです。いまやロータリーは単なる親睦団体でもなく、商売繁盛の相互扶助機関でもなく、奉仕の理想を中心として集まる同士の集団となっております。以上で会長の時間を終わります。

◆出席報告

○会員数 32名 ○出席率 82.76%
 欠席者 5名 那須さん 下宮さん 杉原さん 神原さん 岩永さん

○4月25日補正出席 欠席6名中 メイクアップ 1名 補正出席率 82.76%
 真田さん

◆スマイル BOX

会員誕生記念祝	那須逸雄さん	20年5月 5日
	平田 昭さん	25年5月 6日
会員奥様誕生記念祝	菅 幸恵さん	5月16日

申告スマイル

菅 雪雄会長……今日のプログラムは10周年に向けての卓話 真田実行委員長よろしくお願ひ致します。

全員で協力して成功させましょう。

前田真治幹事……本日のプログラムは創立10周年実行委員長 真田創立会長の卓話です。ご指導のほどよろしくお願ひ致します。

真田惣行さん……下手な話をさせていただきます。

佐藤 貢さん……連休はゆっくり休みましたので今週から、又仕事モードで頑張ります。

三好文行さん……入院しております父が心配しておりました癌ではなく潰瘍でした、ホットしております。

感謝です。

伊藤 定さん……用事がありますので早退させていただきます。

◆プログラム：会員卓話：「創立10周年にむけて」：真田惣行実行委員長

次回例会案内 5月23日(火) ゲスト卓話
6月30日(火) 会員卓話 地区協議会報告